

質問紙

団塊の世代が後期高齢者となる 2025 年に向けて、医療・介護の需要がこれまで以上に高まっていく中で、今後の医療を支えていくためにはチーム医療の一層の推進が不可欠となります。このような状況において、地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律(医療介護総合確保推進法)により、保健師助産師看護師法の一部が改正され、新たに「特定行為に係る看護師の研修制度」が創設されました(平成 27 年 10 月)。この制度は、看護師が医師の判断を待たずに、事前の指示(手順書)により行う一定の診療の補助(特定行為)を標準化することにより、今後の在宅医療等を支えていく看護師を計画的に養成していくことを目的としています。

平成 30 年 3 月現在、研修修了看護師は全国で 1041 名となりました。この制度の趣旨を踏まえると、へき地診療所やへき地医療拠点病院の看護師にも、本研修のニーズがあると考えられます。そこで、へき地医療拠点病院の看護師の研修受講及び修了の実態と、現実可能な受講支援並びに支援課題、修了看護師への期待などに関して、ぜひアンケートにご協力をお願い致します。本調査結果は、今後のへき地医療における質の向上のため、医療従事者の働き方およびチーム医療の推進のための検討材料となるため、率直なご意見をいただけますようお願い致します。回答時間は約 10 分です。

【調査期間】 2019 年 2 月 11 日(月)～2019 年 2 月 28 日(木)

【調査対象】 全国のへき地医療拠点病院の看護管理者

【回答方法】

- ・同封の質問紙にご記入ください。質問文及び指示をよくお読みになり、ご回答ください。
 - ・回答締め切りは、**2019 年 2 月 28 日**までです。それまでにご回答いただき、質問紙をご返送ください。
- また、本調査は、無記名での調査・分析を行うため、回答後の同意撤回はできないことをご了承ください。

【留意事項】

- ・選択肢による回答は統計的に処理します。
- ・自由記述によるご回答データは組織名が特定されないように処理致します。なお、施設名・部署名などは記入しないようにお願いします。
- ・上記を前提に、処理されたデータが調査結果として公表される場合がございます。

上記内容をご確認の上、調査にご協力いただける方は、□に☑をしてください。 研究同意

【問合せ先】

〒329-0498

栃木県下野市薬師寺 3311-159 自治医科大学看護学部

教授 春山早苗

TEL/FAX 0285-58-7509(直通)

E-mail sharu@ms2.jichi.ac.jp

1. 看護師の特定行為に係る研修制度をご存じですか。

全く知らない 聞いたことはある 知っている よく知っている(他者に説明できる)

2. 貴施設の特定行為研修修了看護師数(研修生数)ならびに貴施設で必要な区分に○をつけてください。

各特定行為区分の概要に関しては、同封の資料をご参照ください。なお、不明な場合は「-」、0名の場合は「0」と記載ください。

特定行為区分	修了数 (研修生数)	必要な 区分	特定行為区分	修了数 (研修生数)	必要な 区分
呼吸器(気道確保に係るもの)関連	()		創傷管理関連	()	
呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連	()		創部ドレーン管理関連	()	
呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連	()		動脈血液ガス分析関連	()	
循環器関連	()		透析管理関連	()	
心嚢ドレーン管理関連	()		栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	()	
胸腔ドレーン管理関連	()		感染に係る薬剤投与関連	()	
腹腔ドレーン管理関連	()		血糖コントロールに係る薬剤投与関連	()	
ろう孔管理関連	()		術後疼痛管理関連	()	
栄養に係るカテーテル管理 (中心静脈カテーテル管理)関連	()		循環動態に係る薬剤投与関連	()	
栄養に係るカテーテル管理 (末梢留置型中心静脈注射用 カテーテル管理)関連	()		精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	()	
			皮膚損傷に係る薬剤投与関連	()	
特定行為研修修了看護師の総数(研修生の総数)			()		

3. 貴施設には認定看護師・専門看護師はいますか。いる場合は、該当の認定看護分野を□にチェックし、()内に人数を記載ください。なお、専門看護師の場合は、他の()内に専門看護分野を記載ください。

いる(総数)人 いない

救急看護() 皮膚・排泄ケア() 集中ケア() 緩和ケア() 糖尿病看護()
 がん化学療法看護() がん性疼痛看護() 訪問看護() 感染管理() 不妊症看護()
 新生児集中ケア() 透析看護() 手術看護() 乳がん看護() 摂食・嚥下障害看護()
 小児救急看護() 認知症看護() 脳卒中リハビリテーション看護() がん放射線療法看護()

7. へき地医療における特定行為研修修了看護師への期待について当てはまる番号に○を付けて下さい。

なお、「その他」がある方は、具体的な期待を記載ください。

	大変期待している	期待している	あまり期待していない	期待していない
エビデンスに基づく適切な医療及び看護の提供	4	3	2	1
職場内看護師のアセスメント力向上のための教育的な関わり	4	3	2	1
研修で得た知識を他の看護職へ還元すること	4	3	2	1
医師がタイムリーに動けないときや医師不在時の対応	4	3	2	1
医師と看護師の橋渡しの役割	4	3	2	1
医師と患者の橋渡しの役割	4	3	2	1
訪問看護/在宅看護活動(訪問看護の高度化や役割拡大を含む)	4	3	2	1
高齢者や障害者施設における活動	4	3	2	1
医師の負担軽減や診療支援	4	3	2	1
職場内看護職の研鑽意欲やモチベーションの向上につながる事	4	3	2	1
後続の研修修了看護師のサポート・指導	4	3	2	1
その他 []				

8. へき地医療拠点病院には、何らかの形でへき地診療所に勤務する看護職への支援をしていく役割があると考えますか。該当するものにチェックを入れてください。

- 役割がある 役割はない わからない

9. 問8の回答で「役割がある」を選択した方に伺います。

1) その役割を発揮することに、困難はありますか。該当するものにチェックを入れてください。

- 全くない あまりない 少しある かなりある

2) へき地医療拠点病院がへき地診療所に勤務する看護職へ支援を行う場合に、課題だと思われましたら記載ください。

3) 上記課題を克服するための方法について考えがありましたら記載ください。

10. 貴施設では、これまでへき地診療所に対する支援やへき地診療所に勤務する看護職に対する支援（派遣、研修等）を行ったことがありますか。

「ある」の場合は該当するもの全てにチェックを入れて、() 内に 2018 年（1 月～12 月）の具体的な日数や回数を記載ください。また、「その他」を選択した方は、 具体的内容を記載ください。

ある ない

- 常勤看護職の派遣（約 日・回）
- へき地診療所看護職の産前産後休暇・育児休暇等に伴う派遣（約 日・回）
- へき地診療所看護職の不在時（冠婚葬祭、研修、療養等）の派遣（約 日・回）
- へき地診療所看護職を対象として研修の実施（約 日・回）
- へき地診療所における看護に関する相談対応（約 日・回）
- その他

具体的内容：

11. 貴病院が、へき地医療を支援している地域の特性として該当するもの全てにチェックを入れてください。

過疎 山村 豪雪 島しょ部（離島） 当該地域ではない

※各地域の特性は、以下に示す法に基づく選択をお願いします。

過疎：「過疎地域自立促進特別措置法」、**山村**：「山村振興法」、**豪雪**：「豪雪地帯対策特別措置法」の豪雪地帯及び特別豪雪地帯、**島しょ部**：「離島振興法」「奄美群島振興開発特別措置法」「小笠原諸島振興開発特別措置法」「沖縄振興開発特別措置法」

12. 貴施設の都道府県名を教えてください。

13. 貴施設の病床数について、該当するものにチェックを入れてください。

99 床以下 100～199 床 200～399 床 400～499 床 500 床以上

14. 貴施設の看護師は充足していると思いますか。該当するものにチェックを入れてください。

充足している 不足傾向である その他

15. 貴施設の医師は充足していると思いますか。該当するものにチェックを入れてください。

充足している 不足傾向である その他

質問は以上になります。ご協力いただきましてありがとうございました。